

環境学習 : 2026年2月度 E20「環境学習参考文献紹介4」

AL Gore 著 枝廣淳子 訳『不都合な真実』ランダムハウス講談社 2007年1月  
同上 『不都合な真実2』実業之日本社 2017年11月

■プロフィール: アル・ゴア(AL Gore)

米国生 1948年3月31日 本名 Albert Arnold Gore Jr.

第45代米国副大統領(在任 1993年1月20日~2001年1月20日)

現職: 環境活動家、環境に関心を持つようになったことについて、著書『An inconvenient Truth(不都合な真実)』に記している。子ども時代、母が姉とアルにレイチェル・カーソンの『沈黙の春』を読んでくれたこと、1950年代、大学生の頃、ロジャー・レヴェル教授の下で学び、「地球温暖化問題」について関心を持つようになった、と述べている。レヴェル教授は地球の大気に含まれる二酸化炭素量の測定を最初に提案した人である。2006年ゴアはドキュメンタリー映画の『不都合な真実』に出演した。この映画は2006年5月に公開され、ドキュメンタリー映画としては米国映画史上3番目の興行成績を収めた。2007年に同名の本が出版された。2017年には続編『不都合な真実2』が公開され、同年、同名の本も出版された。

■『不都合な真実(An Inconvenient Truth)』ランダムハウス講談社 2007年1月  
本は、ドキュメンタリー映画ができた後に出版された。出版に至る経緯が、冒頭の「はじめに」のところに記載されている。「(前略)2000年の選挙後、私がやろうと決意した1つは、地球温暖化についてのスライドを見せながらの講演を再開することだった。(中略)私は世界中を廻って、耳を傾ける人には、だれでも、自分の編集したこの情報を見せ、話をしてきた。(中略)2005年の春のある晩、環境活動家のローリー・ディヴィットが企画し、主催した集まりで、いつものスライドを見せながら講演をした。その後、彼女ともう1人のプロデューサー、ローレンス・ベンダーが「そのスライドで映画を作ることを考えたら？」と提案してきた。(中略)一晩で数百人の人々への講演を続ける以外の方法を考えるなら、映画はよい方法だ。後略)」、本は、温暖化の環境影響に関する写真を主体とした絵本のような構成で、間にゴアの講演内容が織り込まれている。

■『不都合な真実2(An Inconvenient Sequel: Truth to Power)』実業之日本社 2017年11月

英文での直訳は「不都合な真実の続編: 権力に真実を」となる。また、補足として“Your action handbook to learn the science, find your voice, and help solve the climate crisis”(不都合な真実の続編: 科学を学び、自分の声を見つけ、気候危機の解決に貢献するための行動ハンドブック)とある。ゴアは、語る。

「(前略)気候の危機を解決するための闘いの現時点において、残っている問いは3つしかない。私達は変わらなくてはならないのか？私達は変わることができるのか？私達は変わるのだろうか？(中略)」、ゴアは、最初の2つは“Yes”だという、3つめの問いは、“Yes”と確信しているが、予測という性格を有している、という。そして、「この予測を現実のものにするには、2015年12月のパリ協定に具現化された世界的な合意を継続的に強化していかなければならない。」、という。続けて、「(中略)何が起きているのか、なぜ起きているのか、どうすれば正常な状態にもどせるのか、についての情報への渴望である。10年前に私は、気候の危機の脅威と解決策を他の人々に伝える方法を学びたいと思うすべての人の為に、『クライメイト・リアリティ・プロジェクト(アル・ゴアが設立した、気候変動対策に取り組む世界的な非営利団体)』という、トレーニングプロジェクトを立ち上げた。(中略)この地球を汚染し、気候の均衡を破壊するのは間違っている。未来世代に希望を与えるのは正しい。(後略)」、続編は初版(10年前)と比べ気候変動影響が、より顕著になっている。

■お薦め

『不都合な真実』は、写真・イラスト・図形等を主体にしており、絵本のように気候変動の影響を学べる本である。補足の“find your voice,”のフレーズは、単に「話す」という意味を超え、「自分自身の内面にある、独自の視点や感情を認識し、それを他者に伝える手段や勇気を見つける」という深い意味合いを持っている。

トランプ大統領は1期目の2017年にパリ協定離脱を表明し、2021年に離脱した。次のバイデン大統領は復帰したが、2025年、再選した2期目に2度目の離脱を宣言した。その一方で、米国には、ゴア氏のように長年環境活動に取り組んでいる人もいる。自然環境の悪化が進んでいる現実を知る事が大切だ。人間の経済活動が原因で、「宇宙船地球号」の自然環境が壊れれば、「アメリカファースト」などとは、いつてられない。

